

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-4
高等教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

総務部総務課長 藤井徹

電話番号

0852-22-5011

事務事業の名称	公立大学法人島根県立大学特殊要因経費補助金	
目的	(1) 対象	公立大学法人島根県立大学
	(2) 意図	施設整備等の臨時的な経費に対する支援を行い、財務上の健全性を保つ
事業概要	公立大学法人島根県立大学における施設設備のうち、緊急かつ大規模な修繕、更新等を要するものに対して補助する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	公立大学法人島根県立大学業務実績に対して公立大学法人評価委員会が行う年度評価の評定平均値	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	点
	式・定義	各年度の評定値（1～5）の合計／年度計画項目数	取組目標値						
			実績値	4.0	3.9				
			達成率	114.3	111.5	—	—	—	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	60,000	0
うち一般財源 (千円)	60,000	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年度は、浜田キャンパス電話交換機更新、松江キャンパス放送設備改修といった機器改修のほか、浜田キャンパス屋上防水工事といった施設修繕、松江キャンパス改修工事の基本設計、県立大学施設の維持保全計画策定等業務を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

電話交換機、放送設備の機器改修によって、故障等で使用できなかったものが使用可能になったほか、屋上防水工事により講義室の雨漏りが無くなり、授業環境が改善された。
また、松江キャンパス新学部設置のための教室変更やバリアフリー化のための改修の基本設計を実施した。
さらに、今後の計画的な施設管理を実施するために、県立大学の施設の維持保全計画策定のための業務を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

3キャンパスの施設・設備の修繕箇所が多数発生

②困っている状況が発生している「原因」

大半の施設で築20年以上経過しており、老朽化が進んでいる。

③原因を解消するための「課題」

・施設・設備の長寿命化を図るための予算の確保

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・維持保全計画に沿った点検、適切な維持管理を実施し、施設・設備の長寿命化を図る。
・計画的な修繕を行い、施設・設備の長寿命化を図る。
・上記実施に必要な予算を確保する。